

報道機関各位

商工労働部労政・能力開発課

第17回若年者ものづくり競技大会入賞者 知事表敬について

令和4年7月27日（水）から7月28日（木）にかけて、広島県で開催されました第17回若年者ものづくり競技大会において、入賞を果たした本県の選手が、下記のとおり三村知事を表敬訪問します。

つきましては、当日の取材・報道についてよろしくお願ひします。

記

- 日時 令和4年9月9日（金）13:00～13:15
- 場所 県庁南棟2階 第3応接室
- 出席者（詳細は添付資料のとおり）
 - 若年者ものづくり競技大会入賞者 金賞（厚生労働大臣賞）2名、敢闘賞 1名
 - 弘前工業高等学校（引率者） 3名
 - 青森県職業能力開発協会（大会関係者） 2名
 - 県側 三村知事、柏木副知事、和嶋教育長、三浦商工労働部長 ほか

4 若年者ものづくり競技大会の概要（詳細は添付資料のとおり）

若年者ものづくり競技大会は中央職業能力開発協会が主催している若年者向けの技能競技大会であり、職業能力開発施設、工業高等学校等において、技能を習得中の原則20歳以下の若年者を対象としている。大会は、若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより若年者の就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的としている。

本県選手の金賞獲得は平成24年度（第7回若年者ものづくり競技大会）に続き4人目。

報道機関用提供資料	
担当課	商工労働部 労政・能力開発課
担当者	職業能力開発グループ GM 宮里 拓也 主査 仙石 達也
電話番号	直通：017-734-9415 内線 3739
報道監 商工労働部 次長 上沢 謙一	

第17回若年者ものづくり競技大会入賞者 知事表敬

1. 日 時 令和4年9月9日（金）13：00～13：15

2. 場 所 第3応接室

3. 来訪者 8名

<入賞者>

ロボットソフト組込み 金賞/厚生労働大臣賞

弘前工業高等学校 小林 大和（こばやし やまと）

芳賀 陽人（はが はると）

IT ネットワークシステム管理 敢闘賞

弘前工業高等学校 橋場 陸人（はしば りくと）

<弘前工業高等学校>

校 長 北城 高広（きたじょう たかひろ）

情報技術科主任 庭田 浩之（にわた ひろゆき）

情報技術科教諭 米田 文彦（よねた ふみひこ）

<青森県職業能力開発協会>

会 長 勝又 貞治（かつまた ていじ）

専務理事 成田 英樹（なりた ひでき）

4. 対応者

三村知事、柏木副知事、和嶋教育長、三浦商工労働部長、高橋学校教育課長、山口労政・能力開発課長、宮里職業能力開発GM、市島指導主事

5. 流れ

- (1) 開会、出席者の紹介
- (2) 受賞者からコメント・懇談
- (3) 知事コメント
- (4) 記念撮影
- (5) 終了

大会競技風景

(1) ロボットソフト組込み 【金賞(厚生労働大臣賞)】

こばやし やまと

はが はると

小林 大和 選手 (右)、芳賀 陽人 選手 (左)

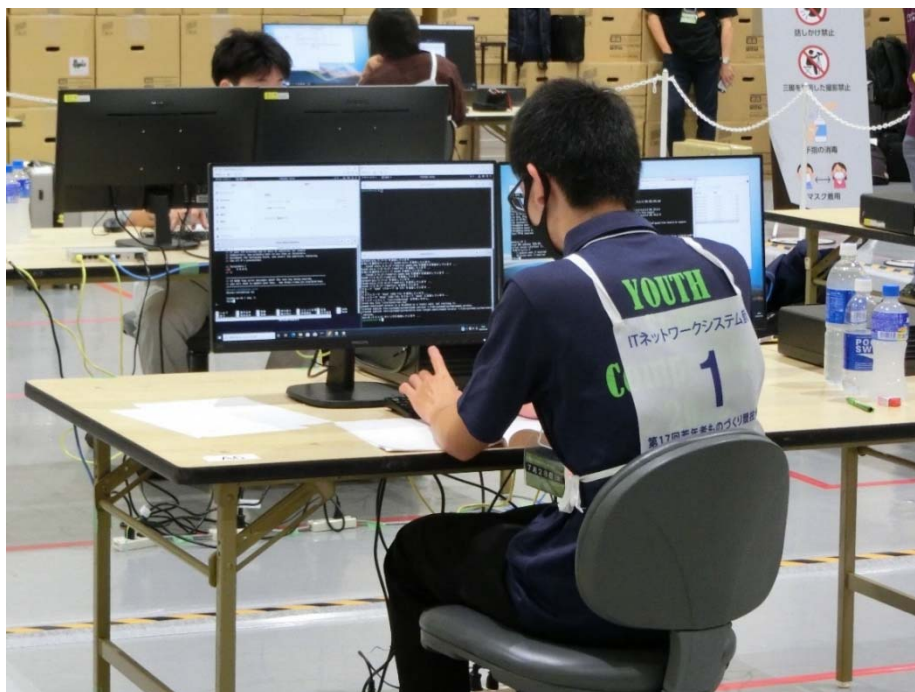


競技内容・・・移動式ロボットの設計・製作やメンテナンス、プログラミング能力を競う。
移動式ロボットに搭載されているセンサからの信号を活用しながら、課題の指示通りに動作するようにロボットプログラムを作成する。

(2)ITネットワークシステム管理 【敢闘賞】

はしば りくと

橋場 陸人 選手



競技内容・・・Web やメールなどのサービスを提供するために必要となるサーバと呼ばれるコンピュータシステムを構築する。また、サーバのサービスを別のコンピュータから使えるようにするため、ルータと呼ばれる機器を用いてコンピュータネットワークを構築する。

第17回若年者ものづくり競技大会の概要

1 目的

企業等に就職しておらず、職業能力開発施設、工業高等学校等において、技能を習得中の原則20歳以下の若年者を対象として「若年者ものづくり競技大会」を開催しており、若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより若年者の就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的とする。

2 主催

厚生労働省、中央職業能力開発協会

3 後援

文部科学省、経済産業省、国土交通省、広島県、NHK、都道府県職業能力開発協会、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、公益財団法人産業教育振興中央会 等

4 日程

令和4年7月27日(水) 競技会場下見 ※一部職種については、競技を先行して実施

7月28日(木) 競技

7月29日(金) 成績発表 ※厚生労働省、中央職業能力開発協会のホームページにて発表

5 競技会場

広島県広島市「広島県立広島産業会館」を主会場とした5会場

6 大会参加資格

大会への参加資格は、次に掲げる要件を全て満たす者に与える。

- (1) 都道府県職業能力開発協会、公益社団法人全国工業高等学校長協会または競技職種に係る業界団体等の推薦を受けた者。
- (2) 参加申込申請時及び大会開催時に日本国内の職業能力開発施設、工業高等学校等において技能を習得中の者であること。
- (3) 企業等へ就業していない学生、訓練生であること。なお、企業等への就業経験者及び大会開催時に就業していることが見込まれる者は除くこととする。
- (4) 平成14年4月2日以降に生まれた者であること。
- (5) 当該競技職種への参加にふさわしい技能を習得していると認められる者。

7 表彰の種類

成績優秀な者に対して、次の表彰を行う。

- (1) 主催者賞：各競技職種において成績順に金賞、銀賞、銅賞、敢闘賞を授与する。
- (2) 厚生労働大臣賞：各競技職種の金賞受賞者に対し授与する。

8 大会参加選手数

15職種に全国から340名が参加

9 本県選手の成績

5職種に7名の選手が出場した中で、金賞受賞者が2名、敢闘賞受賞者が1名でした。

受賞	職種	氏名	性別	年齢	所属	現住所
金賞 (厚生労働大臣賞)	ロボットソフト組込み (2人1チームで競技)	こばやし やまと 小林 大和	男	17歳 (平成16年9月28日生)	青森県立 弘前工業 高等学校 (情報技 術科)	弘前市
		はが はると 芳賀 陽人	男	17歳 (平成16年8月28日生)		
敢闘賞	ITネットワークシステム管理	はしば りくと 橋場 陸人	男	17歳 (平成16年10月30日生)		

※これで本県選手の金賞受賞者は、通算で4名となりました。

過去、平成24年度第7回大会において、ロボットソフト組込み職種（※1チーム2名で競技）に出場した青森県立弘前工業高等学校所属の選手2名が第1位（※当時の賞名）を受賞しています。

10 競技内容及び職種別参加選手数

(1) ロボットソフト組込み

移動式ロボットの設計・製作やメンテナンス、プログラミング能力を競う。

移動式ロボットに搭載されているセンサからの信号を活用しながら、課題の指示通りに動作するようにロボットプログラムを作成する。

(参加選手) 19チーム38名

(2) ITネットワークシステム管理

① Webやメールなどのサービスを提供するために必要となるサーバと呼ばれるコンピュータシステムを構築する。

② サーバのサービスを別のコンピュータから使えるようにするため、ルータと呼ばれる機器を用いてコンピュータネットワークを構築する。

(参加選手) 21名